

3度目挑戦 12月にも

「メテオ」打ち上げ 重なる不運 乗り越え



千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344
<http://www.it-chiba.ac.jp/>
毎月1回(8月を除く)15日発行



「カメラ(手前)も準備OK」—帰国後、記者対応する荒井上席研究員

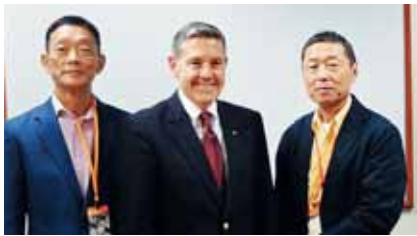
「準備は万全」 荒井上席研究員

2度のロケット爆発という不運に見舞われながらも、国際宇宙ステーション(ISS)からの長期流星観測プロジェクト「メテオ」に携わる惑星探査研究センター(PERC)の研究員は意気盛んだ。3度目の打ち上げ予定は今年12月と決まった。観測に使う超高度ハイビジョンカメラの準備もOK。「3度目の正直」に向けて国際的な打ち上げ環境が整っている。

「メテオプロジェクトとしては、3度目の打ち上げに向けて何の問題もありません。予備のカメラも、明日にでもNASAに運ぶロケットの2度目の爆発事故は日本時間6月28日午後11時21分の



打ち上げの瞬間を待つ松井所長と荒井上席研究員



カバナ・ケネディ宇宙センター長を訪問した瀬戸熊理事長と松井所長

「メテオ」カメラを搭載したスペースX社の商用補給船「ドラゴン」7号機が、ロケットファルコン9で米フロリダ州のケネディ宇宙センターから打ち上げられる光景を瀬戸熊理事長、松井孝典PERC所長、荒井上席研究員らは同空軍基地に隣接するNASAのケネディスペースセンター内の施設の5階テラスから見守っていた。発射台までの距離は約4キロ。ロケットは順調に高度を上げ、やがて噴煙に包まれて機体が見えなくなる。誰もが成功を信じた

「めげず支援」理事長

現地で見守り

9)で米フロリダ州のケネディ宇宙センターから打ち上げられる光景を瀬戸熊理事長、松井孝典PERC所長、荒井上席研究員らは同空軍基地に隣接するNASAのケネディスペースセンター内の施設の5階テラスから見守っていた。発射台までの距離は約4キロ。ロケットは順調に高度を上げ、やがて噴煙に包まれて機体が見えなくなる。誰もが成功を信じた

次の瞬間、NASAの職員が飛び出してきて「異常」を知らせた。最初は「ロケットが軌道を逸れようとした」という情報も流れたが、その後、液体酸素タンクの圧力上昇でロケットともども先端微塵になったことが確認された。昨年10月の「アンタレス」ロケット打ち上げ失

敗もあり、一行は今回事前にNASAケネディ宇宙センター長のロバート・カバナ氏を表敬訪問し「昨年のような間違いは絶対に起こさない」と聞かされたばかりだった。本学は今回も再打ち上げに先立ち6月28日に記者発表し、打ち上げに再び失敗した後も報道機

「メテオ」カメラの再打ち上げに先立ち、PERCが開発した流星観測衛星「S-CUBE」が8月16日、JAXA(宇宙航空

S-CUBE 近く打ち上げ

世界初 宇宙から流星紫外線観測

担当の石丸研究員は「大学規模で独自に推進できるプロジェクトとして、宇宙惑星探査の新たな方向性を切り開きたい」と話している。

ニュースガイド

2面	女性が当選する選挙カー開発/安生さん石井さん審査員奨励賞/尾澤君・関君が特別賞/若林准教授に論文奨励賞
3面	瀧野研が独創コマ/FD委がトークセッション/校友「寺島政明氏」
4、5面	千葉工大26年度決算
6面	CIT音響フォーラム開催/形の科学シンポ開く/未来人「中西一貴さん」/保健室だより
7面	神田外語大でスポーツ交流/市ごみゼロ運動に参加/ものづくりマイスターに新倉さん我孫子さん/学生共済会予算・決算
8面	27年度PPA総会/クラブ活動状況



新学部学科 始動へ弾み

新習志野 説明会に847人

現在の工学部を再編し、学部12学科の説明会が6月7日、新習志野キャンパスで開かれ、進学希望の高校生と保護者など847人が訪れた。写真。一部のプログラムを予約制とする異例の説明会だったが、予想通りの人気となった。また、新たに設けられる12学科の担当教員が、それぞれの学科の教育内容を説明する新学科個別説明会を40分ずつ3回行い、これを利用して3つの学科の説明を聞く来場者も見られた。

これは別に終日イベントとして▽在学生に聞いてみよう▽図書館・自習室▽見学▽展望ラウンジ&ストレッチジム見学▽職員による進路相談コーナーなどが行われた。在学生の案内でキャンパス内の施設、学生寮を見学するツアーも行われた。

者も見られた。学科別AO入試説明会には、来場者のほぼ半数が参加。個別説明会と合わせてみると、工学部心用化学科と先進工学部生命科学科で女子生徒の姿が多いが目立ち、本学の「女子学生人気」の広がりを感じさせた。

*
これは別に終日イベントとして▽在学生に聞いてみよう▽図書館・自習室▽見学▽展望ラウンジ&ストレッチジム見学▽職員による進路相談コーナーなどが行われた。在学生の案内でキャンパス内の施設、学生寮を見学するツアーも行われた。

女性が当選する選挙カー

佐藤研・石川さんら連携して開発



開発した選挙カーと車を試す石川さん

地方選挙で「女性が当選する選挙カー」を(株)栄光自動車工業(千葉県若葉区、木保博光社長)と本学デザイン科学科・佐藤弘喜教授の研究室、千葉大・デ

ザイン心理学研究室が連携して開発し、実車化された。デザイン科学専攻の石川和也さん(修士2年)が中心となって、愛らしい形を生み出した。

地域で小回りが利く軽自動車を選択。演説スペースやスピーカーを配置した。目を引くのは車体半分に弧を描く階段の手すり、候補者がマイクを手に、階段途中にも、高い天辺にも立てる。反



対側車内には移動中、候補者が街の人々に見えるよう、ベンチシートを外側に向けた。窓は広く、全体がコンパクトで丸い曲線に包まれている。

「目を引き、親近感を持たれる車にしたかった」と石川さん。選挙カーという厳しい制約下のデザインをクリアした。

マイクには音が鮮明に通るよう音響研究を生かし、千葉大側も演説内容で色が変わるLED表示や車体カラー研究を提供。試験走行し、8月にも首都圏でレンタルを始めるという。

石川さんは、自身のデザインが世に出る感動に「今後もコンペやプロジ

若林准教授に論文奨励賞

熱帯適応者の体水分・体温調節を比較研究



教育センター(体育教育)の若林准教授が、大会(5月30、31日、札幌市の北海学園大学)で開催)で2014年度論文奨励賞を受賞した。若林准教授は、さまざまな温熱環境でのヒトの体温調節や作業能力を研究。今回は日・韓・マレーシア・インドネシアの研究者による共同プロジェクトで、マレーシア人と日本人を対象に、暑熱環境で運動し水分を補給した際の体水分・体温調節反応を比較研究した。その結果、日本人では

水分補給すると発汗量が過剰に増加する(無効発汗)のに対し、マレーシア人では発汗量はそれほど増加しないのに、深部体温の上昇は小さいことが明らかになった。これは熱帯適応者では体水分のロスを抑えつつ、少ない発汗量で効率的に体温調節していることをうかがわれる。

同学会は「短期的暑熱適応と、熱帯地で生育した慢性的な暑熱適応との違いを、体水分調節と体温調節に焦点をあてた精緻かつ計画的な方法で明らかにした」と評価した。

若林准教授は「これまでに携わった中で最大規模のプロジェクトで、論文執筆にも時間がかかっただけに、思い入れが強い。研究領域が広がり、人類の環境適応や生理的多型性に理解を深めることにつながった。学会や共同研究者に感謝したい」と感想を語った。

若林准教授は67回大会でも、局所冷却による前腕部組織温度の低下と骨腕筋代謝の変化の研究で優秀発表賞を受賞している。

浮く船着き場がある橋

安生さん・石井さん 審査員奨励賞



安生さんらのイラストと出展模型



安生さん(左)と石井さん

港区の建築会館で開かれた2次審査会場で表彰された。

安生さんら2人は、隅田川にかかる唯一の歩道橋・桜橋(浅草)に着目。今はX字型をしており、花見客や夏の花火大会の屋形船にぎわうが、普段は閑散とするこも。浮力を利用した船着き場を設け、親水堤としてヒトとラネが共にある橋に変えてみたら……。

構造は上下の弧で支えるサスペンダーを採用

「往来・停泊」空間をテーマに斬新な構造を募集した「学生・若手実務者のための第2回2015構造デザインコンペティション」(同コンペ企画運営主催)で、安生さん(建築都市環境学

専攻修士1年)と田嶋修二(研究室)と石井那美さん(建築都市環境学科4年)田嶋則行研究室)の「Bridge Station-浮力を利用した船着き場の提案」が審査員奨励賞に選ばれた。6月20日、東京都

竹の住まい提案 特別賞

尾澤君・関君 京都の改修コンペ

住宅産業で需要が高まっているリノベーションのアイデアを募る「リノベーション×フリーダム学生アイデアコンペ2015」(5月31日に審査結果公表、NPO法人京都くらし方研究会主催)で、尾澤佳樹君と関将吾君(ともに建築都市環境学科4年)田嶋則行研究

室が、竹を生かした住居「TAKEtion」を提案し、選外ながら審査員特別賞を受賞した。表彰式は6月27日、京都市下京区のYIC京都で行われた。

2人はコンペ課題地・京都府向日市に放置竹林が多いことに着目。地主・自治体と協力して竹林

みなさんにはとても感謝しています。

石井さんは「コンペに費やした日々も、有名な構造家の方々と話し講評していただいたことも貴重な時間でした。構造の難しさ、面白さを改めて実感しました」と語った。



「TAKEtion」説明図の一部

保全を図る一方、間伐された竹を利用して課題地の会社社宅を改修。竹を組み合わせた壁やパーティション、天井で、住み良い竹の空間をつくることを提案した。

住居の一部は地域に開放しイベント空間に。竹細工や子供会の竹とんぼ作り、近隣住民のタケノ



尾澤君(左)と関君

コンペの参加資格は関西圏の学生が対象だったが、2人はあえて応募。審査で最高得点を獲得したため特に考慮されて審査員から賞を贈られた。

尾澤君は「対象外なのに最高得点をつけたにすぎない。やるだけやってみよう、お互い奮起したのがよかったのでは……」と感想を語った。

コ料理の集いなどを集める場にした。そうすることで住居が地域に根ざし、親から子へ、子から孫へ、地域と関わっていくと考えたという。

外なのに最高得点をつけたにすぎない。やるだけやってみよう、お互い奮起したのがよかったのでは……」と感想を語った。

日本生理人類学会は産官学から人類学、生理学、人間工学、健康科学、体育科学、建築学など幅広い分野の研究者が集まり環境適応能力▽テクノロジー▽アダプタビリティ▽生理的多型性などをキーワードに、現代人の生理特性・メカニズムを研究している。

独創コマに視線集中!

瀧野研、コマ大戦の県予選に出場

まずは2個のコマがバトルを繰り返している。写真をご覧ください。手前の銀色に輝いているのが、機械サイエンス学科・瀧野日出雄教授の研究室のチームが作ったコマ。6月6日に千葉市の「きぼーる」で開かれた「全日本製造業コマ大戦/県別対抗団体戦」の千葉県予選に出場し会場の注目を集めた。



改めて②の写真にご注目! コマの外周に4個の小さな金属球をはめ込んだ溝が6列刻まれている。小球の数は合わせて24個。この小球の回転



出場した保坂さん

「最近のコマには、相手への衝撃を強めるため外周に凹凸を付けているものが多い。そこで、この小球の列が有効だと考えました」(保坂さん) 実際では、外周に凹凸を、独創性を育む。また、チームによるモノづくり経験をさせる」という瀧野教授の狙いは十分達成されたようだ。

力で、相手のコマの衝撃を逸らしてしまおうというアイデアだ。

「最近のコマには、相手への衝撃を強めるため外周に凹凸を付けているものが多い。そこで、この小球の列が有効だと考えました」(保坂さん) 実際では、外周に凹凸を、独創性を育む。また、チームによるモノづくり経験をさせる」という瀧野教授の狙いは十分達成されたようだ。

FD委トークセッション

教育能力高める方法と悩みを討論

一昨年に続いて2回目の今年の千葉県予選には県内の中小製造業などの14チームが参加した。瀧野研チームは一昨年、参加16チーム中2位となり、長野県上田市で開かれた県別対抗団体戦に出場した経歴がある。

そこで今年も、一昨年のチームメンバーだった保坂隆博さん(修士2年)を中心に、齋藤裕祐

教育能力を高めるための実践的方法を探る本学FD委員会(内海秀幸委員長)が主催の「FD委トークセッション」が5月28日夕、津田沼校舎2号館の大教室で開かれた。今年度からベストティチャー賞、グッドレク

チャー受賞教員の授業公開を始めるのを機に、調査内容を振り返り、語り合うのが目的。教職員88人が参加した。FD委員会委員の3人と情報メディアセンター部長がパネリストを務め、教職共同で以下の話題を展開した。

△データで見る千葉工業大学を取り巻く状況 △内海委員長 学内だけでなく文科省や他大学など外部動向も理解する必要があると指摘 △データで見る千葉工業大学を取り巻く状況 △内海委員長 学内だけでなく文科省や他大学など外部動向も理解する必要があると指摘



2015.8.2(SUN)~2015.8.9(SUN) 10:30~18:00

©小山由哉/講談社

8月2日(日)~9日(日)の8日間、東京スカイツリータウンキャンパス(東京スカイツリータウン8階)で、千葉工大×宇宙兄弟 Technology+ 展を開催します。漫画「宇宙兄弟」のインパクトのあるグラフィックパネルを設置して、名シーンを視覚的に体験出来ます。入場無料。

より小さいピンを打ち込んだコマに対して小球が思い通りに動かなかったことや、重心の低い逆お椀型など回転力に勝るコマが多かったことなどから、予選に勝ち残ることはできなかった。しかし、「学生に設計加工の知識を深めさせ、独創性を育む。また、チームによるモノづくり経験をさせる」という瀧野教授の狙いは十分達成されたようだ。

活躍する 校友

△ロコーポレーション取締役 寺島 政明氏 (55歳) (昭和57年、金属工学科卒)

「若い時分は引っこ込み思案でした」。およそそうは見えない、明るい能弁で、株式会社△ロコーポレーション(本社・東京、社員約530人)の取締役、寺島政明さん(鳥山工場長)は部下を引っ張っていく。立場は人を成長させるようだ。

「苦学生でした」。東京・新小岩のアパートで4年間送った。3年までアルバイトをよくした。JRA中山競馬場の交通整理員、冷凍食品工場の清掃...「冷凍のシューマイをときどきもらいました。このおいしかったですね」。この中で、内気な性格を外へ開いていったという。とはいえ、アパートは友人のたまり場になり、マジシャンや飲み会など学生生活を結構エンジョイしたらしい。

「車メーカー側の参加者からこんなセリフも出ました。『手の汚れていない管理者は去れ』って。モノづくりにおいては管理者といえども現場に下り、知恵を出せ、という戒めだ。『目からウロコでしたね』。以後も品質改善に携わり、3年間サプライ・チェーン・マネジメント改善推進室長を勤めたあと2012年、現職へ異動し、翌年役員に。他に管理職として本学OBは8人いる。それにしても、シェア争いは世界規模に拡大した。取引先は、世界で約200社以上に広がり、米加のほかベトナム、インドネシア、タイに拠点を構えている。更なる前進をと、毎日の朝礼で全従業員に向け簡単な話を。多用するのは、「能力は未来進行形」というフレーズ。社員に経営マインドを持たせつつ、製造業の基本である『安全・品質・コスト・納期管理』と

本を読み、人を知るべし 能力は未来進行形



「役職が付くと経験や知識が問われる」と寺島さん

席するなど仕事の幅を広げていく。全国から部品メーカーを集めたその場合は、各社のプレゼンなど切磋琢磨のバトル空間でもあった。

「車メーカー側の参加者からこんなセリフも出ました。『手の汚れていない管理者は去れ』って。モノづくりにおいては管理者といえども現場に下り、知恵を出せ、という戒めだ。『目からウロコでしたね』。以後も品質改善に携わり、3年間サプライ・チェーン・マネジメント改善推進室長を勤めたあと2012年、現職へ異動し、翌年役員に。他に管理職として本学OBは8人いる。それにしても、シェア争いは世界規模に拡大した。取引先は、世界で約200社以上に広がり、米加のほかベトナム、インドネシア、タイに拠点を構えている。更なる前進をと、毎日の朝礼で全従業員に向け簡単な話を。多用するのは、「能力は未来進行形」というフレーズ。社員に経営マインドを持たせつつ、製造業の基本である『安全・品質・コスト・納期管理』と

「若い頃は先輩に教えてもらえ。でも役職が付くと指導する立場になり、経験や知識が問われる。だからこそ在学中にたくさん本を読み、人を多く知るべしという、自戒を込めた後輩たちへのエールである。

消費収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 消費収入の部 (Consumer Income) and 消費支出の部 (Consumer Expenses).

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 消費支出の部 (Consumer Expenses) and 繰越消費支出超過額 (Carryover Consumer Expense Excess).

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 繰越消費支出超過額 (Carryover Consumer Expense Excess).

貸借対照表

平成27年3月31日

(単位：円)

Table with 4 columns: 科目, 本年度末, 前年度末, 増減. Rows include 資産の部 (Assets) and 負債の部 (Liabilities).

Table with 4 columns: 科目, 本年度末, 前年度末, 増減. Rows include 負債の部 (Liabilities).

Table with 4 columns: 科目, 本年度末, 前年度末, 増減. Rows include 基本金の部 (Equity).

Table with 4 columns: 科目, 本年度末, 前年度末, 増減. Rows include 消費収支差額の部 (Consumer Income/Expense Difference).

5 地域・社会への貢献

(1) 包括的連携協定の締結 習志野市、浦安市、御宿町、

(2) 自己点検評価活動 (3) 学校教育法の改正への対応

(4) 公的研究費等の監査の実施 (5) 自己管理型チェックリストシステムの導入・実施

(6) 三様監査連絡会の開催 (7) SD活動の充実 (8) 事業所内保育所の設置

(9) 衛生委員会による取り組み (10) キャンパス内全面禁煙に向けた取り組み

7 財務の概要 (1) 帰属収入178億1700万円 (予算比2億4100万円増)

(2) 教育研究経費は、これまでと同様に経費圧縮に努めたことにより予算比1億9200万円の減少となった。

6 法人管理・運営関係

(1) 工学部の改組に向けた取り組み (2) 自己点検評価活動

(3) 学校教育法の改正への対応 (4) 公的研究費等の監査の実施

(5) 自己管理型チェックリストシステムの導入・実施 (6) 三様監査連絡会の開催

(7) SD活動の充実 (8) 事業所内保育所の設置 (9) 衛生委員会による取り組み

(10) キャンパス内全面禁煙に向けた取り組み (1) 帰属収入178億1700万円

(2) 教育研究経費は、これまでと同様に経費圧縮に努めたことにより予算比1億9200万円の減少となった。

(3) 帰属収支差額は、前年度繰越消費支出超過額と合わせ、31億8300万円の支出超過となった。

4 施設設備整備関係

(1) 運動施設の充実 新習志野キャンパスに隣接する西浜運動施設に待望の多目的用途で利用できる屋内練習場が竣工した。

(2) 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターと、業務連携に関する協定書を9月30日に締結した。

(3) 産官学連携協議会関係 平成27年3月31日現在で会員数は正会員63社、特別会員10団体、計73会員。

(4) 公的研究費等の監査の実施 (5) 自己管理型チェックリストシステムの導入・実施

(6) 三様監査連絡会の開催 (7) SD活動の充実 (8) 事業所内保育所の設置

(9) 衛生委員会による取り組み (10) キャンパス内全面禁煙に向けた取り組み

(1) 帰属収入178億1700万円 (予算比2億4100万円増) 前年度比14億3700万円増

資金収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円) 収入の部

支出の部

収入の部 (Income) 学生生徒等納付金収入 13,416,000,000

支出の部 (Expenses) 人件費支出 6,689,000,000

収入の部 (Income) 学生生徒等納付金収入 13,416,000,000

支出の部 (Expenses) 人件費支出 6,689,000,000

図書収支差額

図書収支差額は、前年度繰越消費支出超過額と合わせ、31億8300万円の支出超過となった。

(1) 帰属収入178億1700万円 (予算比2億4100万円増)

(2) 教育研究経費は、これまでと同様に経費圧縮に努めたことにより予算比1億9200万円の減少となった。

(3) 帰属収支差額は、前年度繰越消費支出超過額と合わせ、31億8300万円の支出超過となった。

(4) 公的研究費等の監査の実施 (5) 自己管理型チェックリストシステムの導入・実施

(6) 三様監査連絡会の開催 (7) SD活動の充実 (8) 事業所内保育所の設置

(9) 衛生委員会による取り組み (10) キャンパス内全面禁煙に向けた取り組み

今後の課題

(1) 学生生徒等納付金の安定的確保 (2) 外部資金の獲得

(3) 資産運用の一層の効率化とリスク管理の徹底 (4) その他の収入源確保策の検討

(5) 消費収支差額 当年度消費収支差額は7億8700万円の収入超過となった。

(6) 今後の課題 今後も引き続き財務基盤の安定をはかるため、次のような課題に取り組みたい。

(7) 消費収支差額 当年度消費収支差額は7億8700万円の収入超過となった。

(8) 今後の課題 今後も引き続き財務基盤の安定をはかるため、次のような課題に取り組みたい。

(9) 消費収支差額 当年度消費収支差額は7億8700万円の収入超過となった。

図書収支差額

図書収支差額は、前年度繰越消費支出超過額と合わせ、31億8300万円の支出超過となった。

(1) 帰属収入178億1700万円 (予算比2億4100万円増)

(2) 教育研究経費は、これまでと同様に経費圧縮に努めたことにより予算比1億9200万円の減少となった。

(3) 帰属収支差額は、前年度繰越消費支出超過額と合わせ、31億8300万円の支出超過となった。

(4) 公的研究費等の監査の実施 (5) 自己管理型チェックリストシステムの導入・実施

(6) 三様監査連絡会の開催 (7) SD活動の充実 (8) 事業所内保育所の設置

(9) 衛生委員会による取り組み (10) キャンパス内全面禁煙に向けた取り組み

「安全を守る音環境」中間報告

▶ CIT音響フォーラム開催



写真。

公共空間で人々の安全を守るための「音環境」をいかに構築するか。本学で音響分野を専攻する研究者で組織している音響情報研究センター（代表・陶良電気電子情報工学科教授）主催の「CIT音響フォーラム」が6月13日、津田沼キャンパスで開かれた。

平成21年から通算8回目となる今回のテーマは「安全・快適性のための音響情報伝達」。25年度から文部科学省「私立大学戦略的基盤形成事業」の補助金を得て進められている5年計画の研究プロジェクトで、今回はスタートから2年間の成果を報告した。

研究代表を務める情報工学科・矢野博夫教授の趣旨説明によれば、この研究プロジェクトの目的は、構成メンバーの広範な研究内容を関連づけて相乗効果を発揮させることで、公共空間で情報を伝える音の「明瞭性・了解性・快適性」を追求すること。

このため構成メンバーの研究内容は①音源の設計②電気音響システム③音環境・空間伝搬系④聴覚・認識の4分野に広がっている。

第8回CIT音響フォーラムでの発表は次の通り。

▽残響下において聞き取りやすいアナウンス音声合成法（情報ネットワーク学科・木幡俊教授）

▽音声単語親密度、話速、ポーズ長が文章理解に与える影響（情報工学科・世木秀明准教授）

▽音線法を用いた数値実験による指向性スピーカを用いた非常放送の明瞭性改善（矢野教授）

▽広域放送の明瞭性確保のための幾つかの検討（建築都市環境学科・佐藤史明教授）

▽気象条件が防災放送の了解度に及ぼす影響（無響室での音場再生とバイノーラルシミュレーション）の比較（電気電子情報工学科・飯田一博教授）

▽視聴覚情報を手掛かりとした移動における「迷い」の残響の関係（情報ネットワーク学科・山崎准准教授）

▽モノラル信号の物理特性と音像の幅（情報ネットワーク学科・柳川博文教授）

▽快適コミュニケーションのための残響可変装置を用いた音環境デザイン（未来ロボティクス学科・大川茂樹教授）

▽スマートホン・タブレットによる簡易音場シミュレータ（情報ネットワーク学科・須田宇宙准教授）

「中間報告」として発表された。

研究代表を務める情報工学科・矢野博夫教授の趣旨説明によれば、この研究プロジェクトの目的は、構成メンバーの広範な研究内容を関連づけて相乗効果を発揮させることで、公共空間で情報を伝える音の「明瞭性・了解性・快適性」を追求すること。

このため構成メンバーの研究内容は①音源の設計②電気音響システム③音環境・空間伝搬系④聴覚・認識の4分野に広がっている。

第8回CIT音響フォーラムでの発表は次の通り。

▽残響下において聞き取りやすいアナウンス音声合成法（情報ネットワーク学科・木幡俊教授）

東日本大震災で、町民に行政無縁で避難を呼びかけ続けた宮城県南三陸町の女性職員が津波に巻き込まれて死亡した事故以来、公共空間や広域放送における「音による情報伝達」に、社会の関心がより一層高まった。本学の研究陣に対する期待も高まっている。

東日本大震災で、町民に行政無縁で避難を呼びかけ続けた宮城県南三陸町の女性職員が津波に巻き込まれて死亡した事故以来、公共空間や広域放送における「音による情報伝達」に、社会の関心がより一層高まった。本学の研究陣に対する期待も高まっている。

形の科学シンポジウム

菊池教授、河合教授が招待講演

13日には4つの招待講演が無料の公開講演として開放され、学内外から多くの聴衆が詰め掛けた。未来ロボティクス学科の菊池耕生教授が「象の脚と蟻の脚〜スケール則から見る形の力学」

「象と蟻との考察から、体の大きさ（スケール）によって力学特性が変わり、それぞれの力学特性に合った設計原理が存在する。その設計原理に体のデザインを合わせると、飛ぶ・走る・登るなどの能力が増幅され、制御も簡単になる」という結論を披露した。

河合剛太教授が「分子の形と進化〜形は生き残る〜」と題して、日ごの研究成果を発表した。

菊池教授は、アメンボが水上歩行をしたり、クモやアリなどが垂直な壁

さまざまな学術分野の研究者が集まる「形の科学会」（会長は種村正美統計数理研究所名誉教授）のシンポジウムが6月12〜14日の3日間、津田沼校舎で開かれた（本学共催）。第79回を迎えた今回のシンポのテーマは「生物に見られる『ねじれ』構造」。全国の大



研究発表の会場



幾何学玩具の展示

あらゆる生物―大腸菌も、植物も、人間も、絶滅した恐竜も―は、その細胞内で同じ方法でDNAを作っている。そこでDNAの原料の1つであるプリンヌクレオチドを生合成するタンパク質の立体構造を調べたら、地球上の全ての生物の祖先に起源生物がどうやってできたかが解明できるのではないかと、地球の生命誕生の謎に、タンパク質の形から迫っていることを報告した。

このほか理化学研究所と京都大学の研究者も招待講演を行った。

今回のシンポで世話人を務めた機械サイエンス学科の手嶋吉法教授は「形の科学会」は幅広い分野の研究者が集まり、専門の垣根を超えて自由な議論を促している。公開講演を聞いた一般の人にも、研究の面白さや、自由闊達な議論を肌で感じてもらうと思う」と話している。

発見！ 未来人

コンピュータ・ハイテック株式会社 S I 事業部オープンシステムグループリーダー
中西 一貴さん
2004年、情報工学科卒



職場で同僚たちにシステムを説明する中西さん

在学中は「最適化ソフトウェア」などの研究に取り組みました。プログラミング演習で初めて LINUX のワークステーションに触れ、パソコン以外のコンピューターがあることを知りました。

現在の仕事は、文教システムの開発・導入・保守。主なシステムは①先生方の研究業績を効果的に収集・発信できる「研究業績管理システム」②科学研究費を簡単に適正管理できる「科研費管理システム」――で、ともにウェブで管理を行い、当社初めてのクラウド形態としても提

供しています。

ニッチな分野ですが、現在メインで担当しているシステムは100校以上の大学に導入されており、この分野でシェア1位です。

当社の社風はとてアットホーム。仕事以外の付き合いも多く、みんな仲間のような関係です。私が副会長をしている親睦会が主催するボーリング大会が定期的であり、また、有志によるフットサルやダーツ、ゴルフコンペなども行われて、みんな和気あいの雰囲気を楽しんでいます。

事業内容	以下のシステムのコンサル・提案・開発・導入（派遣は一切なし）＝①文教システム、大手某通信キャリアのウェブシステム、医療情報、総合流通情報、省エネ、生産管理、組込制御ほか②自社パッケージの企画・開発。（従業員約100人のうち30人が千葉工大OB）
所在地	〒110-0015 東京都台東区東上野3-18-7 上野駅前ビル

保健室 第1号

もうすぐ夏休み！楽しい反面、生活リズムが乱れやすくなる時期です。熱中症予防はもちろん、元気に後期を迎えられるよう、体調管理に気を付けて過ごしましょう。

暑さ本番！ 熱中症に注意！

熱中症は、7～8月がピークです。正しい知識をもって予防に努めましょう！

熱中症とは？…高温多湿な環境で、体内の水分・塩分のバランスが崩れたり、体温調節がうまく働かなくなり、体内に熱がたまり様々な症状を引き起こします。

熱中症の症状は？

軽	めまい・立ちくらみ・大量の汗
中	だるい・頭痛・吐き気
重	嘔吐・けいれん・意識がない

意識がはっきりしていれば・・・涼しい場所へ移動、水分補給、体を冷やす
意識がはっきりしていない・自力で水分補給できない・・・すぐに救急車を呼ぶ！
詳しい対処法はこちら → 環境省「熱中症予防情報サイト」<http://www.wbset.env.go.jp/>

熱中症の予防・対処法

暑さを避ける	こまめに水分補給	体調に注意
炎天下の運動や長時間の外出を避ける。帽子の着用、こまめな休憩をとる。	外出時はもちろん、室内でもこまめに水分・塩分・経口補水液をとる。	寝不足・風邪などの後などに熱中症をおこしやすいため注意。

参考：厚生労働省 熱中症関連情報

保健室は、津田沼校舎・新習志野校舎それぞれにあります。ケガ、具合の悪いとき、体調の相談など、気軽に来室してください。

<問い合わせ先> 保健室
津田沼校舎（1号館1階）047-478-0231 新習志野校舎（12号館1階）047-454-9764

★ 今月号から「保健室だより」と「学生相談室だより」を随時掲載します。

「ごみゼロ(5300)」にちなんで6月最終日曜に行われた「ごみゼロ運動」(習志野市など主催)に、本学の学生会執行委員会の21人(福祉部・荒木毅部長・未来ロボティクス学科3年)が参加した。市内で一斉に街路などを清掃する運動で、今年度は秋津小学校をメイン会場に、小学校や公共施設

市ごみゼロ運動に参加

▼ 学生会執行委の有志たち

企業、市民団体から総勢700人が参加した。本学は昨年度から始めた「クリーンウォーク」のつなかりで参加した。当日は快晴。秋津小で小学生らによる「まちをきれいにする作文」が朗読された後、清掃活動に入った。気温が上がり熱中症の恐れもあったが、1人も倒れることなく無事に終了した。



バスケットボールの熱戦



スポーツ大会の参加者たち

神田外語大でスポーツ交流

▼ 60人参加し、バスケットなど楽しむ

神田外語大・暮張キャンパス(千葉県美浜区若葉)で6月7日(日)、春季スポーツ大会が開かれ、本学生会執行委員会や文化会所属の学生、寮生ら約60人が参加して神田外語大生たちと一緒にスポーツを楽しんだ。カリキュラムや単位互換で本学と連携協定を結ぶ神田外語大・神田外語学院と、学科以外でも交流を深めるねらい。本学参加者はソフトボール、バスケットボールなどに出場した。

試合終了後は、両学生が隣り合わせて食事会。互いに普段の学内と異なる壁を越えた交流ができた。味わい、楽しい時間を過ごした。

「ものづくりマイスター」に認定

▼ 工作センター新倉さん、我孫子さん



新倉さん(右)と我孫子さん

日差しが暑い絶好のスポーツ日和となり、人工芝のグラウンドで開会式。全員で準備体操の後、競技が開始され、どの競技も和気あいあいのなか進んでいった。学生会出場のソフトボールは白熱した接戦にな

工作センターで学生たちに旋盤やフライス盤などの汎用機械の使い方方を指導している嘱託職員の新倉朝一さんと我孫子博さんが「厚生労働省のものづくりマイスター」(機械加工)に認定された。

1の認定は、厚生労働省が平成25年度から始めた事業。若者のものづくり離れや技能離れで、日本の産業の基礎となる高度な技能が失われることを防ぐために、中小企業や教育訓練機関で若者たちを実技指導する優れた技能を持った人を選んで認定している。認定対象職種は建設業と製造業分野の12職種。新倉さんと我孫子さんはともに大手電機メーカーの日立で機械加工に携わった大ベテラン。その高い技能と指導経験を買われて工作センター入りし、今やセンターになくしてはならない存在だ。

工作センターの村越担当課長は、「お2人は学生たちに単に機械の使い方を指導するだけではなく、ものづくりの楽しさや、企業勤め時代の経験を生かして製品のコスト、納期といったことまで話して下さる。ものづくりで最も大切なコミュニケーション力を養うという意味でも、新倉さんと我孫子さんから指導を受けられることは、学生にとって貴重な経験だと思う」と話している。

平成27年度千葉工業大学学生共済会収支予算

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 会費収入	23,000,000	1. 支払保険料	24,000,000
2. 入会金収入	4,500,000	2. 給付金	5,000,000
3. 受取利息	180,000	3. 貸与金	27,000,000
4. 貸付金回収収入	23,000,000	4. 委託費	7,200,000
5. 手数料収入	1,500,000	5. 消耗品費	3,150,000
		6. 通信費	800,000
		7. 印刷費	500,000
		8. 会議費	200,000
		9. 支払手数料	400,000
		10. 事務費	100,000
小計	52,180,000	小計	68,350,000
前年度繰越金	17,054,906	次年度繰越金	884,906
総合計	69,234,906	総合計	69,234,906

平成26年度決算報告書

貸借対照表
平成27年3月31日
千葉工業大学学生共済会

資産の部		正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
(流動資産)			
普通預金	17,054,906	共済基金	205,000,000
定期預金	508,000,000	積立金	138,000,000
計	525,054,906	貸付充当金	162,359,958
(固定資産)		計	505,359,958
貸付金	162,359,958	学費貸与準備金	165,000,000
計	162,359,958	次年度繰越金	17,054,906
合計	687,414,864	計	182,054,906
		合計	687,414,864

平成26年度収支決算書

自平成26年4月1日：至平成27年3月31日

科目	予算額(①)	決算額(②)	差引増減額(②-①)	科目	予算額(①)	決算額(②)	差引増減額(②-①)
1. 会費収入	23,500,000	23,734,250	234,250	1. 支払保険料	20,000,000	26,241,725	6,241,725
2. 入会金収入	4,500,000	4,748,000	248,000	2. 給付金	5,000,000	1,436,000	△3,564,000
3. 同窓会援助金	0	0	0	3. 貸与金	30,000,000	12,005,000	△17,995,000
4. 受取利息	150,000	198,378	48,378	4. 委託費	7,000,000	7,129,656	129,656
5. 貸付金回収収入	26,000,000	25,667,602	△332,398	5. 通信費	800,000	509,594	△290,406
6. 手数料収入	1,800,000	1,770,512	△29,488	6. 印刷費	700,000	1,627,144	927,144
7. 学費貸与準備金取崩収入	0	0	0	7. 会議費	200,000	118,162	△81,838
8. 積立金取崩収入	0	0	0	8. 事務費	500,000	412,609	△87,391
9. 前年度繰越金	30,416,054	30,416,054	0	9. 学費貸与準備金組入支出	0	0	0
				10. 共済基金組入支出	0	0	0
当期収入計(A)	86,366,054	86,534,796	168,742	11. 積立金組入支出	20,000,000	20,000,000	0
				12. 予備費	2,166,054	0	△2,166,054
				当期支出計(B)	86,366,054	69,479,890	△16,886,164
				当期剰余金(A)-(B)	0	17,054,906	17,054,906

学生共済会予算、決算を承認

平成27年度学生共済会予算案は異議なく承認された。予算の概要は次のとおり。

▲収入の部▼

- 受取利息
金利低迷の中、積立金の貸付金及び普通預金から発生する利息として18万円を計上した。
- 前年度繰越金
1705万4906円を計上した。

▲支出の部▼

今年度は昨年同様、このところの元気サポート、暮らしの法律相談

給付金
給付金支出金額は、昨年度140万円程度だったが、不測の事態に備え500万円を計上した。

● 学費貸与金

学費貸与金支出額は、昨年度1200万円程度だったが、今年度からの学費再延納制度の廃止を考慮し、2400万円を計上した。

の継続に係る費用で720万円を計上した。

● 消耗品費

新規事業導入(災害の備蓄)に向けて350万円を計上した。

決算

平成26年度の学生共済会決算も同理事会で異議なく承認された。決算の概要は次のとおり。

千葉工業大学学生共済会も27年目を迎え、より良い学生生活のサポートが出来るよう制度の充実を図りつつ、平成26年度も順調に運営されました。ことを報告致します。

